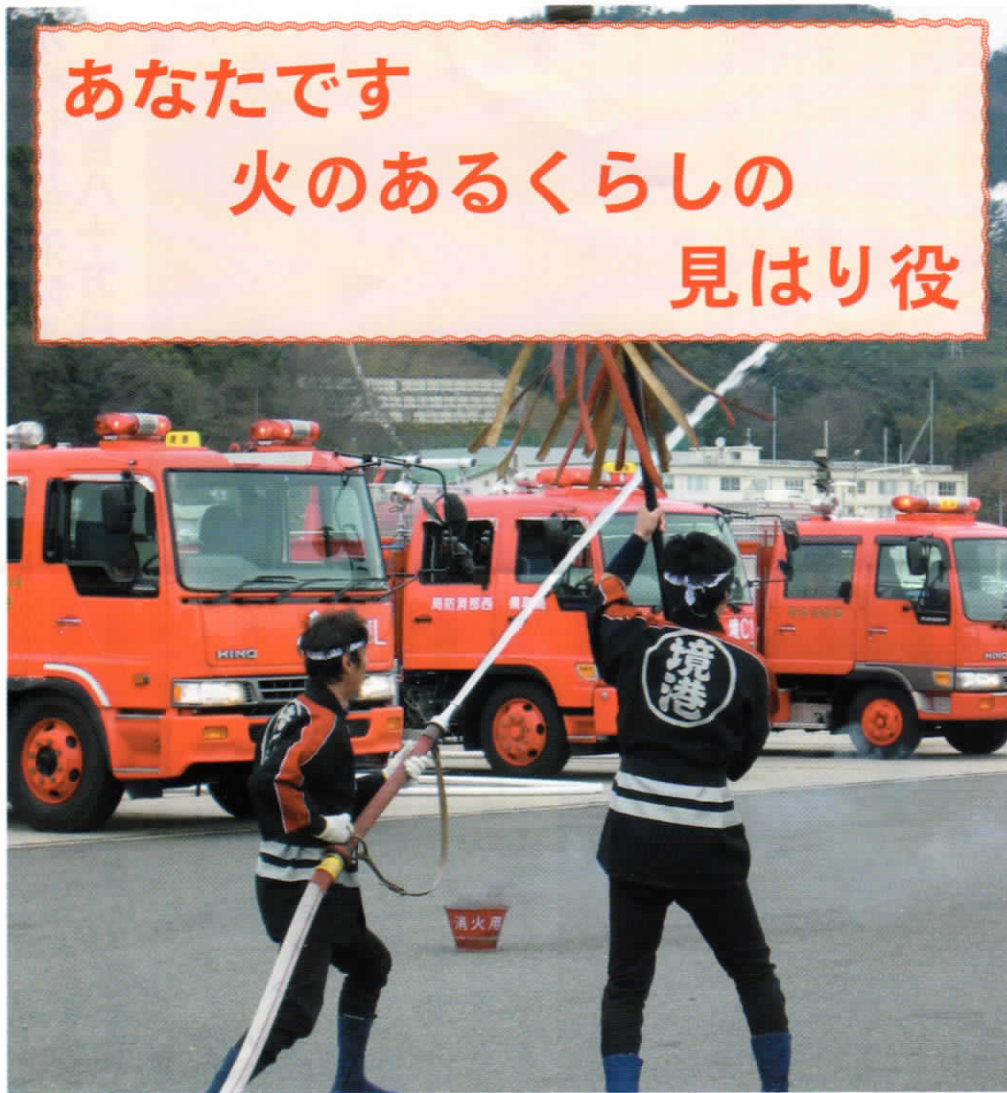




平成18年1月6日 境港市消防出初式

境港市消防 保安協会 会報

発行所

境港市消防保安協会

境港市中野町2116

境港消防署内

電話 47-0119

FAX 47-0031

印刷所 (有)共同印刷所

平成18年4月1日

第47号

火の用心

ごあいさつ

境港市消防保安協会

会長 渡辺 明彦



当協会の運営に当たりまして、
会員企業各位、関係機関の皆様
には、日頃より格別のご支援・
ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年末から年初にかけて全国
各地の積雪地帯では記録的な豪
雪に見舞われ、百名を超える死
者が出たことが報道されました。

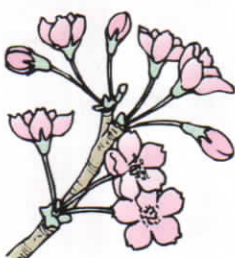
県内でも山間部では、豪雪に見
舞われ、死者も三名発生したと
聞いており、地域住民の生活や
関係機関の皆様のご苦労は大変
だったと思います。

さて、当市における昨年の火
災発生状況は、火災件数十一件
で、引き続き減少傾向にありま
すが、以前の標語にありますよ
うに、「その油断 火から炎へ

災いへ」であり、一層の防火意
識の高揚と「いざ」と言うとき
に対処できる準備を持ちたいも
のと思っています。

「鳥取県西部地震」から五年
が経過し、私たちの記憶から遠
ざかるうとしていますが、近い
将来、「東南海」、「東海」など
巨大地震が想定されており、当
地域にも何らかの影響があるも
のと思われます。当協会も地域
社会に根ざした団体として更な
る防災意識の向上と防災活動に
努めてまいりたいと考えており
ます。

最後になりましたが、会員の
皆様方のますますのご活躍とご
健勝を祈念申し上げ、私の挨拶
といたします。



水槽付化学消防車購入 百八十万円寄贈

境港市制が発足したのは昭和三十一年四月一日でありました。その年の五月一日、境港消防団の中に「常備消防部」が設けられました。消防職員十二名が採用され境港市常備消防の歴史的なスタートと今日の礎がここにあります。

当時、境港市の急激な都市化進展と山陰地区最大の石油基地タンクが林立し、発展一途にありました。

当然に油火災の危険拡大への対策、整備要請が大きな世論となっていました。消防保安協会では、その世論の高まりを受けて、石油会社をはじめ関係企業、保安協会員などからの要請を背景に市当局へ

「化学消防」への対応を呼びかけました。加えて、消防保安協会としても化学消防



えんどう・りょう氏
昭和11年 境港市生まれ。市民部部長、特選育。境港市老人会会長、津村教育委員。愛苑は、日吉委員長。

「消防保安協会のおたち」(四)

遠 藤 量

車の購入財源支援をすることを役員会で決定しました。

購入する議論の中で高層建物も多くなり「はしご車」購入の意見もありました。スノーケル車か

化学消防車か

人口三万八千人の小さな都市である境港市ではありますが、このスノーケル車か化学消防車か、購入議論は三十万都市並みの市民議論であり、スケールの大きな話題として当時、大いに関心のあった事案でした。

当時、常備消防部の責任者の一人であった中嶋登美夫さんは述べ懐きます。

山陰地区最大となった石油基地タンク群への市民の危険性と不安は大きなものだった。でも、各石油企業の安全に対する格別の配慮は信頼に足るものであった。私たち直接現場に出動する者にとっては、直ぐに直接消火できる「水槽付化学消防車」を強く要望していた。林義人消防長も了承され、市長、議会も同意意向で、ここに購入計画が内定した。感激だった——と。

私たちの消防保安協会の要請や一般市民の熱い願望に市当局も動き「化学消防車」の購入が議会議決されました。

昭和四十三年一月六日、待望の化学消

防車がお見えたしました。関係者多数を集め入魂式が挙行されました。

購入に当って、境港市消防保安協会として会員総意を結集して資金集めに協力いたしました。

百八十万円(当時)を贈りました。

当日配布された資料パンフレットが今ここにあります。

一、車体及びエンジン

トヨタ、普通四輪車、乗車人員八名

二、消防ポンプ

高圧二段バランスタービン

三、化学消火装置

放射薬剤 エヤーフォーム

水槽付化学消防車の性能は、車載水槽一、五〇〇リットル、六%原液を使用し、泡ノズルにて発泡すると約八倍の容量となつて燃焼石油層を覆って消火することが出来るものでした。

境港市にある石油類を取り扱う事業所を見ますと昭和四十二年十二月三十一日現在、境港駅裏西寄り海岸一帯に日本石油・エッソスタンダード・シェル石油・丸善石油・出光興産の五油槽所がありました。正に山陰一の石油基地でありました。(元境港市消防本部職員)

危険物施設における 事故増加中(平成16年)

総務省消防庁がまとめた危険物施設における事故件数は、平成六年頃を境に増加傾向に転じ、平成十六年は統計を取り始めて以来最多となりました。

火災の発生件数 一九五件

漏洩事故件数 三五九件

特に、地下に埋設される危険物施設(タンク、配管)等の腐食、劣化による漏洩事故の増加が今後も懸念されることから日常の点検等の更なる強化など安全対策の徹底を図ることが重要です。



平成18年3月1日 東西OT新境港油槽所屋外タンク火災想定訓練

第二十六回 事業所対抗消火競技会

13チーム、26名 迅速的確に

平成十七年九月二十二日（木）、境港消防署において当協会主催の消火競技会を開催しました。

この競技会は、消火器による油火災のすばやい消火、確実な一一九番通報、更にチームで連携をとって、屋内消火栓より放水し標的を倒すという一連の火災時の初期対応を習得していただくものです。

今年度も九月頃に開催を予定しておりますので新しい職員さんの研修の機会として、たくさんの方の事業所からの参加をお願いいたします。



第一位

アサヒ・ファインフーズ株式会社

佐藤 直人・手嶋 美保さん

第二位

株式会社アクティ境港営業所 Aチーム

中谷 誠・桑谷 昇さん

第三位

介護老人福祉施設さかい幸朋苑

本城 研・新谷 由紀子さん



（優勝チーム佐藤直人さん・手嶋美保さんの感想）

アサヒ・ファインフーズは食品会社で、私達はマヨネーズの製造に従事して居ります。

会社方針として四つの安全（労働安全、品質安全、環境安全、設備安全）をモットーに従業員一丸で取り組んで居り、消防訓練も労働安全衛生推進行事の一つです。

大会当日は向かい風が強く、私達のチームも放水活動に苦労しましたが、自分達の職場は自分達で守るのだという強い気持ちで日頃訓練し臨んだことが優勝に結びつき良かったです。又、貴重な経験が出来た喜びでいっぱいです。

平成十七年度表彰関係

* 財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

平成十七年六月六日、東京都千代田区「スクワール麹町」で開催された全国危険物安全大会において（有）寺本商店代表取締役、寺本 勤氏が長年にわたり各種保安事業を推進し危険物の災害防止に尽力された功績が認められ財団法人全国危険物安全協会理事長表彰を受賞されました。

鳥取県危険物安全大会

平成十七年鳥取県危険物安全大会が六月十日米子市西福原の「ペルライトよなご」で行われ当協会関係者が表彰の栄に輝きました。

* 鳥取県知事表彰

（危険物優良取扱者表彰）

西田 実男

（東西オイルターミナル（株）新境港油槽所）

* 鳥取県危険物保安協会連合会長表彰

（危険物保安功労者表彰）

浜野 茂夫

（全国漁業協同組合連合会境港油槽所）

松浦 均

（東西オイルターミナル（株）境港油槽所）

境港市消防保安協会総会

六月二日総会の席上次の方々が受賞されました。

* 境港市消防保安協会会長表彰

個人

（協会副会長） 堀田 收（堀田石油株式会社）

事業所

（協会監事） 企業組合 里岩商店

我が社のアピール

さかい幸朋苑

総合施設長 高松 武美



さかい幸朋苑は、昭和六十二年四月に境港市では初めての特別養護老人ホームとして、誠

道町に開苑してから、今年で十九周年を迎えます。さかい幸朋苑は社会福祉法人こうほうえんの多くの施設の中で、最初の施設でもあります。当時、職員数三十数名でスタートしたさかい幸朋苑は、在宅サービスも含め、今では三百名を超す職員となり約十倍となりました。県内の四施設群を合せますと一、一五〇名を数えます。これもひとえに地域の皆様にご支援をいただいた賜物でありまして心から感謝をしております。

この間、サービスの向上と介護のプロとしてのスキルの向上に努めてまいりましたが、平成十三年九月には、介護サービス全体のレベル向上を図るため、ISO 9001を取得して手法の均一化に努めました。

現在、さかい幸朋苑は、特別養護老人ホーム(定員一五四名)の他に老人保健施設(定員五〇名)、ケアハウス(定員

五十名)、生活支援ハウス(定員二十名)の施設と在宅サービスとして、グループホームせいどう(定員九名)、グループホームひので(定員十八名)、デイハウスとのえの家(定員十名)、デイハウスさんげんや(定員十名)を開設しています。その他、デイサービス、デイケア、訪問介護(ヘルパー)、訪問看護、ケアプランセンター、地域包括支援センター、ショートステイ(定員十六名)を配置しています。

また、ご利用者のQOLの向上を図るために十人のリハビリスタッフを配置した、いきいきリハビリセンターを設置してご利用者の方や地域の方々を対象にパワリハビリを実施しています。

また、境港警察署に隣接して、鋭意建設中の施設は、特別養護老人ホームを、より地域に密着した快適でプライバシーの守れる施設にするために、全室個室にし、分割して小規模化した新しい特別養護老人ホームです。あわせて、誠道町の既設の施設も個室化を図り定員を九十名とする計画です。

『介護のことならさかい幸朋苑に相談



すればすべてフォローしてもらえらる」という安心の体制とあわせ、『さかい幸朋苑があつて助かった、よかった』と地域の皆さんに喜んでもらえるサービスが提供できるよう、職員一同切磋琢磨一丸となって頑張っています。

今後も、地域社会の中でふれあいを大切にしながら、地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される『こうほうえん』を目指して参る所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。

試験情報

平成十八年度の試験研究センターが行う各試験の日程をお知らせします。

危険物取扱者試験にあっては、昨年度まで年間二回でしたが、今年度より三回の実施となりました。(一月は、乙種四類のみの実施です。)

*危険物取扱者試験

一回目(甲種、乙種、丙種)

試験日 平成十八年六月十八日(日)

願書受付期間 平成十八年四月十二日(水)

二回目(甲種、乙種、丙種)

試験日 平成十八年十一月十二日(日)

願書受付期間 平成十八年九月十二日(火)

三回目(乙種四類のみ)

試験日 平成十九年一月二十八日(日)

願書受付期間 平成十八年十一月二十四日(金)

試験会場 米子職業能力開発促進センター

米子コンベンションセンター

なお、危険物取扱者試験準備講習会については、一回目と二回目の試験に併せて開催する予定としております。

*消防設備士試験

試験日 平成十八年八月二十七日(日)

願書受付期間 平成十八年六月二十六日(月)

試験種別 甲種、乙種

試験会場 米子コンベンションセンター